



- 2002 - 鹿屋食肉衛生検査所
- 2005 - 出水保健所
- 2007 - 末吉食肉衛生検査所
- 2010 - 生活衛生課
- 2013 - 動物愛護センター
- 2016 - 阿久根食肉衛生検査所
- 2017 - 名瀬保健所瀬戸内町駐在
- 2020 - 名瀬保健所
- 2022 - 知覧食肉衛生検査所
- 2024 - 生活衛生課

横山 竜也

生活衛生課 技術主幹兼乳肉衛生係長
入庁年：2002年入庁 滋賀県出身

01現在の仕事内容



生活衛生課 乳肉衛生係ではと畜・食鳥検査関係や動物愛護等、公衆衛生獣医師が関わる業務の取りまとめを行っています。私は係長として、各担当業務を総括しながら議会対応も行います。

02鹿児島県に入庁した理由



私は県外出身で鹿児島県とは何の縁もゆかりも無く、大学進学で初めて鹿児島県に来ました。大学生活を送るうちに鹿児島県の住みやすさに魅了され、また大学の先輩が鹿児島県に入庁して獣医師がたくさん活躍している話も聞いて魅力を感じました。鹿児島県は離島勤務もありますが、海無し県で育った自分からすると数年間を南の島で過ごせるというのもとても魅力的でした。

03現在の業務の魅力



県庁での業務は獣医師本来の仕事からは少し離れる事も多いです。（ほぼ事務仕事）しかし自分たちは獣医師であると同時に公務員でもあるので、公務員としての仕事を学び、実践できる機会でも感じて他の様々な職種と同僚たちと協力しながら取り組んでいます。

04とある1日の過ごし方



出勤

資料の作成

係業務の調整

議会対応

退庁

ウォーキング
ランニング

各出先機関からの相談等に対して係の担当者が対応案を作成。その中身が法律や過去の整理とずれていないか確認し、対応を検討します。

昼休憩

- ・県議会で係の業務に関する質問が出た場合は資料を準備し、回答内容を検討
- ・議会中以外にも資料は常に最新の状態になるよう準備しています

06:30 08:30 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:15

05 仕事でやりがいを感じることに



今の仕事は直接県民と触れ合う機会は少ないですが、一方で県としての方針を決めるなど大きな仕事に関わることがあります。私は動物愛護センターの立ち上げに関わったので、毎年多くの方が動物愛護センターを利用してくださり、10年前と比べて動物愛護思想が普及している事を感じられるのはこの仕事をしていたおかげだと思えます。

06 仕事できつかったこと・苦勞したこと



動物愛護センター立ち上げの際に、地元住民の方々に施設の必要性がうまく伝わらず理解を得るのに苦勞しました。最終的には地元代表の方と一緒に他自治体の類似施設を見に行き、子供たちが気軽に立ち寄れる施設であることを知ってもらってようやく開設にむけて進みました。

苦勞はしましたが、センターが開所してからは毎年県内の子供たちが授業の一環で動物愛護について学びに来てくれる施設となっている事を考えると苦勞した甲斐があったと感じています。

07 仕事でびっくりしたこと・印象に残っていること



奄美大島の保健所に勤務していた時に、海岸でワニが見つかった事件がありました。最初は警察署から「奄美大島にワニっていないですよね？」と電話があり、半信半疑で見に行くと本当に小さなワニでした。詳しい方に色々聞きながら確認したところどうやらそのワニはイリエワニとシャムワニの交雑種の幼体ではないか、ということ。驚いたのは、その当時の法律では特定動物同士を掛け合わせた交雑種は特定動物ではないと整理されており、明らかにワニなのに特定動物に該当しない可能性が高いと判断されたことでした（その後法律が変わり、今は特定動物となっています）。



08 鹿児島県庁の好きなところ



鹿児島は畜産県で、牛・豚・鶏の飼養頭数や処理頭数も全国トップレベルです。それだけ大変な部分もちろんありますが、公務員獣医師のやりがいという意味でもトップレベルだと自分は思っています。

豊かな自然、魅力的な離島、美味しい食べ物、豊富な温泉など暮らしの魅力もトップレベル。そんな鹿児島県で生活しながら獣医師としての仕事も充実しているのはとても良いと思えます。

09 仕事終わりや休日の過ごし方



もともと公務員を選んだ理由のひとつは自分の時間を大切にしたいから。仕事はもちろん一生懸命しますが、業務時間以外は仕事の事を忘れて家族の時間、自分の時間を楽しんでいます。

奄美大島にいる間は趣味のギターでバンド活動をしていました。最近は健康のために始めたランニングに嵌まっていて、早朝や週末に夫婦でランニングを楽しんでいます。また、妻と二人の娘が吹奏楽をしているので、コンクールの時期は自分も応援や送迎で大忙し。当日は家族の出番だけでなく全ての学校の演奏を聴き、審査員さながら採点をして審査後の答え合わせを楽しんでいます。



奄美大島の土盛（ともしり）海岸



80年台製造の国産レスポールが好き